

第2次健康おたる21関連事業 事業経過シート

第2次健康おたる21関連事業

施策No.	領域	施策	担当	頁
1	がん、循環器、糖尿病領域	地域連携によるがん検診の普及啓発推進	地域保健SG	3
2	がん、循環器、糖尿病領域	地域連携による特定健康診査・特定保健指導の普及啓発推進	地域保健SG	4
3	がん、循環器、糖尿病領域	血圧自己測定推進	地域保健SG	5
4	がん、循環器、糖尿病領域	ウォーキング推進事業	地域保健SG	6
5	がん、循環器、糖尿病領域	おいしい空気の施設推進	地域保健SG	7
6	がん、循環器、糖尿病領域	禁煙達成者の支援	担当主幹	8
7	がん、循環器、糖尿病領域	ヘルシーメニュー事業	歯科・栄養SG	9
8	がん、循環器、糖尿病領域	毎日朝食をとる、家族の誰かと一緒に朝食をとる	歯科・栄養SG	10
9	がん、循環器、糖尿病領域	食事バランスガイド活用の推進	歯科・栄養SG	11
10	がん、循環器、糖尿病領域	栄養成分表示の店推進	歯科・栄養SG	12
11	精神保健領域	悩みの相談窓口の周知啓発推進	地域保健SG	13
12	感染症領域	麻疹ワクチン接種の推進	結核・感染症SG	14
13	口腔保健領域	効果的な歯みがきの普及	担当主幹	15
14	口腔保健領域	歯周病セルフチェックの普及	担当主幹	16
15	口腔保健領域	むし歯のない3歳児を増やす	歯科・栄養SG	17
16	次世代の健康づくり	思春期の健康教育推進	子育て支援SG	18
17	全般	第2次健康おたる21普及・啓発	事務局	19
18	全般	チャレンジ健康クイズ	地域保健SG	20
	年度別目標達成状況	前期計画策定シート	事務局	21

施策No.	領域	施策	担当
1	がん、循環器、糖尿病領域	地域連携によるがん検診の普及啓発推進	地域保健SG

目的・目標 目的: がんの75歳未満の年齢調整死亡率の減少(人口10万対)

目標: がん検診受診率の増加

	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定)
実施内容	<p>【がん検診の周知、啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業家同友会の健康セミナーにより、働く世代に向けた健康教育を実施(1回70名) ・生活保護世帯を対象に、チラシを配布(3000枚) ・健康教育による啓発(6回170名) <p>【がん検診実施の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツフェスティバル会場における肺がん検診(20名受診) ・町内会館などでの特定健診とがん検診の同時実施 <p>【調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「小樽市民の健康情報に関する意識調査」を実施 	<p>【がん検診の周知、啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業家同友会の健康セミナーにより、働く世代に向けた健康教育を実施(1回8名) ・関係機関に、チラシを配布(14か所) ・国保新規加入者に対してチラシを配布 ・健康教育による啓発(4回100名) ・医療機関、歯科医院、調剤薬局でのチラシの配布(238か所) ・坂の街出版発行のWa-o!!に啓発記事を掲載 <p>【がん検診実施の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツフェスティバル会場における肺がん検診(20名受診) ・町内会館などでの特定健診とがん検診の同時実施 	<p>【がん検診の周知、啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関に、チラシを配布 ・国保新規加入者に対してチラシを配布 ・健康教育による啓発 ・医療機関、歯科医院、調剤薬局でのチラシの配布 ・坂の街出版発行のWa-o!!に啓発記事を掲載 ・検診会場におけるポスター周知 ・広報おたるに記事を掲載(予定) <p>【がん検診実施の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツフェスティバル会場における肺がん検診 ・町内会館などでの特定健診とがん検診の同時実施
評価	<p>【受診率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胃がん検診: 7.3%(前年比-0.2%) ・肺がん検診: 10.0%(前年比+0.4%) ・大腸がん検診: 18.2%(前年比-0.7%) ・子宮頸がん検診: 34.7%(前年比-4.8%) ・乳がん検診: 28.5%(前年比-3.8%) 	<p>【受診率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胃がん検診: 7.0%(前年比-0.3%) ・肺がん検診: 9.6%(前年比-0.4%) ・大腸がん検診: 17.9%(前年比-0.3%) ・子宮頸がん検診: 32.2%(前年比-2.5%) ・乳がん検診: 27.5%(前年比-1.0%) 	
改善点	<p>受診率は、前年度同程度であり、啓発の効果は見られなかった。今後、「小樽市民の健康情報に関する意識調査」を元に、市民に届く周知・啓発を検討していく。</p>	<p>啓発に特化した方法でがん検診の周知を行ったが、受診率の増加は見込めておらず、チラシやポスター掲示のみでは受診率を上げていくことに限界がある可能性がある。市民に直接的に勧奨するなど、健康管理の意識に働きかけていく方法の検討が必要である。</p>	

施策No.	領域	施策	担当
2	がん、循環器、糖尿病領域	地域連携による特定健康診査・特定保健指導の普及啓発推進	地域保健SG

目的・目標 目的：・脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少 ・虚血性心疾患の年齢調整死亡率を増加させない ・糖尿病の年齢調整死亡率を増加させない
 目標・特定健康診査の受診率増加 ・特定保健指導の実施率増加

	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定)
実施内容	<p>【実施方法の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスツアーけんしん：13回 ・地域のけんしん：11回 <p>→銭函市民センターにて同時実施 国保による受診勧奨も併せて実施(60名受診)</p> <p>【特定保健指導プログラムの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングサポーターの協力による実施 	<p>【実施方法の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスツアーけんしん：13回 ・地域のけんしん：10回 <p>【特定保健指導プログラムの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団支援を終了し、家庭訪問を方法に導入する。 	<p>【実施方法の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスツアーけんしん：12回 ・地域のけんしん：10回 <p>→各会場にポスターを掲示し、啓発</p> <p>【特定保健指導プログラムの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺地域における動機づけ支援の試行(集団)
評価	<p>【特定健診受診率】</p> <p>13.5%(小樽市国保分)</p> <p>【特定保健指導利用率(終了者)】</p> <p>動機づけ支援：11.7%(前年比-6.8%) 積極的支援：14.5%(前年比-1.6%)</p>	<p>【特定健診受診率】</p> <p>14.7%(小樽市国保分)</p> <p>【特定保健指導利用率】</p> <p>動機づけ支援：12.2%(前年比+0.5%) →家庭訪問利用率：5% 積極的支援：10.0%(前年比-4.5%) H27.10未終了者分(未確定値)</p>	
改善点	<p>特定健診は、銭函地区における健診において、近隣住民への電話勧奨も行ったため、60名の受診となった。</p> <p>特定保健指導は、利用率が減少しており、個別のニーズに対応可能な方法も検討していく。</p>	<p>特定健診について、実施者は保険者であり、国保との連携が重要である。保険者と協働した取り組みを実施していく。</p> <p>特定保健指導については、動機づけ支援の家庭訪問の利用率は5%であり、実施率増加の方法を更に検討していく。</p>	

施策No.	領域	施策	担当
3	がん、循環器、糖尿病領域	血圧自己測定推進	地域保健SG

目的・目標 自宅などで血圧測定をする40歳代の割合の増加

	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定)
実施内容	<p>下記の方法により、周知啓発を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康教育 ・働く世代への健康教育 ・血圧自己測定推進のポスターの作成、配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育、健康相談や各種イベントにおける普及啓発 ・血圧自己測定に関するリーフレットの配布 ・特定保健指導、特定健康相談での実施勸奨 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育、健康相談や各種イベントにおける普及啓発 ・血圧自己測定に関するリーフレットの配布 ・特定保健指導、特定健康相談での実施勸奨
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育 30回 750人 ・職域の対象者への啓発 7回 200人 ・ポスターは市内関係機関600か所に配布 ・健康教育にて実施しているアンケートで、血圧自己測定をしている割合 68.6% 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育 9回 174名 ・イベント参加 5回 291名 (ピンクリボン(2回)、消防、看護協会、体育協会) ・リーフレット配布 953枚 ・特定保健指導 84名、特定健康相談 81名に勸奨 ・健康教育にて実施しているアンケートで、血圧自己測定をしている割合 56.4% 	
改善点	あらゆる機会を活用し、啓発を継続することとする。	あらゆる機会を活用し、啓発を継続することとする。	

施策No.	領域	施策	担当
4	がん、循環器、糖尿病領域	ウォーキング推進事業	地域保健SG

目的・目標 目的:40～50歳代の運動習慣を有する割合の増加

目標:ウォーキングサポーターを20名養成し、市民への普及を行う

	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定)
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングサポーターの養成 ・市民への健康教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングサポーターの養成 ・市民への健康教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングサポーターの養成 ・市民への健康教育の実施
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングサポーター養成 19人 ・市民への健康教育 102回 1,945人 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングサポーター養成 12人 ・市民への健康教育 165回 2,449人 	
改善点	ウォーキングサポーターと協働し、引き続きウォーキングの普及・啓発を行っていく。	ウォーキングサポーターと協働し、引き続きウォーキングの普及・啓発を行っていく。	

施策No.	領域	施策	担当
5	がん、循環器、糖尿病領域	おいしい空気の施設推進	地域保健SG

目的・目標 目的:成人の喫煙率の減少

目標:おいしい空気の施設登録件数の増加

	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定)
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> おいしい空気の施設を周知する。 健康教育により、受動喫煙について普及啓発を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> おいしい空気の施設を周知する。 受動喫煙について普及啓発を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 広報おたる ポスターの作成 	<ul style="list-style-type: none"> おいしい空気の施設を周知する。 受動喫煙について普及啓発を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ポスターの配布 FMおたる
評価	<ul style="list-style-type: none"> おいしい空気の施設周知 市内医療機関 100か所 おいしい空気の施設:78件 健康教育の実施 30回 893人 	<ul style="list-style-type: none"> おいしい空気の施設周知 市内調剤薬局80か所、関係機関375か所 市内企業576か所 おいしい空気の施設:105件 普及啓発 関係機関にポスターを送付 570か所 	
改善点	<p>おいしい空気の施設は、毎年周知先を決め、増加していけるよう周知を継続する。 健康教育による周知も、継続していく。</p>	<p>取り組みを継続する。</p>	

施策No.	領域	施策	担当
6	がん、循環器、糖尿病領域	禁煙達成者の支援	担当主幹

目的・目標 目的:禁煙宣言者の支援をすること及び禁煙宣言者数の公表により、禁煙を決意する者の増加を図ること。

目標:禁煙宣言者の増加

	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定)
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関(禁煙外来)と連携し、禁煙を決意した市民への支援を行う。 ・医師会、歯科医師会、薬剤師会会員へポスターとちらしを配布し周知。 ・禁煙外来は個別に訪問し、受診者に禁煙宣言をしていただくようお願いした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関(禁煙外来)と連携し、禁煙を決意した市民への支援を行う。 ・医師会、歯科医師会、薬剤師会会員へポスターとちらしを配布し周知。 ・禁煙外来は個別に訪問し、受診者に禁煙宣言をしていただくようお願いした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関(禁煙外来)と連携し、禁煙を決意した市民への支援を行う。 ・医師会、歯科医師会、薬剤師会会員へちらしを配布し周知。
評価	平成25年度の宣言者数は13名。これは禁煙外来受診者(137名)の1割程度である。	事業開始からの登録者数は20名。うち平成26年度の新規登録者は7名。	
改善点	登録者の連絡先が不明のものや、メールに返信のないものなどあり追跡が困難。禁煙マラソンを勧めるはずであったが、連絡が取れないことから支援内容の変更を検討し、今後禁煙宣言者数を公表することで、他のまだ禁煙していない市民への励まし効果を狙うこととする。	登録用紙に個人情報を書くので、登録に躊躇する人がいるとの事。ホームページの公表では、個人情報が載らないことを、より目立つように登録用紙を改良する。	

施策No.	領域	施策	担当
7	がん、循環器、糖尿病領域	ヘルシーメニュー事業	歯科・栄養SG

目的・目標 目的: 食事療法中の方や、生活習慣病予防に興味のある市民の方にもおいしく、エネルギー等を心配せず安心して外食を楽しめる環境を整備する。

目標: 食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む飲食店などの登録件数の増加(「おたる・ヘルシーメニュー」事業登録店数(合計)10件)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定)
実施内容	<p>市内飲食店などにおいて1食あたり下記のメニューを提供する登録店を増やし、食事療法中の方や、生活習慣病予防に興味のある市民の方においしく、エネルギー等を心配せず安心して食べていただく環境を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●おたる・スーパーヘルシーメニュー(エネルギー600kcal・食塩相当量3g以内) ●おたる・ヘルシーメニュー(エネルギー600kcal以内) ●おたる・ヘルシースイーツ(エネルギー100kcal以内) 	<p>事業周知及び登録店への周知を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体等へ事業周知のリーフレットを配布 ・市ホームページへ掲載 ・広報おたるへ特集記事掲載 ・「ヘルシーメニューシンポジウム」の開催(主催:小樽商科大学、共催:小樽市) ・栄養改善事業や健康増進課へ依頼があった健康教育参加者に対しリーフレットを配布 	<p>事業周知及び登録店への周知に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体等へ事業周知のリーフレットを配布 ・市ホームページへ掲載 ・栄養改善事業や健康増進課へ依頼があった健康教育参加者に対しリーフレットを配布
評価	登録件数: 5件 (おたる・スーパーヘルシーメニュー4件・おたる・ヘルシーメニュー1件)	登録件数: 4件 (おたる・スーパーヘルシーメニュー3件・おたる・ヘルシーメニュー1件)	
改善点	事業開始後1年未満のため、事業の周知が必要である。	登録件数が伸び悩んでいるので、事業の周知、登録店の周知に努めたが、なかなか登録には結びつかなかった。今後は登録に結びつくような支援の検討が必要である。	

施策No.	領域	施策	担当
8	がん、循環器、糖尿病領域	毎日朝食をとる、家族の誰かと一緒に朝食をとる	歯科・栄養SG

目的・目標 目的:市民に朝食の重要性と家族で規則正しい食習慣を実践できるように正しい知識を普及・啓発する。

目標:毎日朝食をとる人の増加、家族の誰かと一緒に朝食をとる割合の増加

	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定)
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、全ての栄養改善事業と市内幼稚園、保育施設、健康増進課へ依頼があった健康教育参加者に対し、リーフレットを配布。 ・市ホームページに掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、全ての栄養改善事業と市内幼稚園、保育施設、健康増進課へ依頼があった健康教育参加者に対し、リーフレットを配布。 ・市ホームページに掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、全ての栄養改善事業と市内幼稚園、保育施設、健康増進課へ依頼があった健康教育参加者に対し、リーフレットを配布する。 ・市ホームページに掲載
評価	周知リーフレット配布数:6,000枚	周知リーフレット配布数:6,000枚	
改善点	今後も周知・啓発のために、これまでの実施を継続する。	今後も周知・啓発のために、これまでの実施を継続する。	

施策No.	領域	施策	担当
9	がん、循環器、糖尿病領域	食事バランスガイド活用の推進	歯科・栄養SG

目的・目標 目的:市民が自らの食生活を見直すことにつながる正しい知識の普及・啓発

目標:食事バランスガイドを参考に食事をする市民の増加

	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定)
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 適切な栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、栄養改善事業や健康増進課へ依頼があった健康教育で普及・啓発のための講話を実施。また参加者に対しリーフレットを配布。 市ホームページに掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、栄養改善事業や健康増進課へ依頼があった健康教育で普及・啓発のための講話を実施。また参加者に対しリーフレットを配布。 市ホームページに掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、栄養改善事業や健康増進課へ依頼があった健康教育で普及・啓発のための講話を実施する。また参加者に対しリーフレットを配布する。 市ホームページに掲載
評価	周知リーフレット配布数: 3,000枚	周知リーフレット配布数: 3,000枚	
改善点	今後も周知・啓発のために、これまでの実施を継続する。	今後も周知・啓発のために、これまでの実施を継続する。	

施策No.	領域	施策	担当
10	がん、循環器、糖尿病領域	栄養成分表示の店推進	歯科・栄養SG

目的・目標 目的：食生活は多様化しており、健康を維持するには、家庭の食事だけではなく上手に外食などを利用して食生活全体を管理することが大切になっている。よりよい食生活を選択でき、健康管理を行うことができるよう、飲食店などのメニューに「栄養成分表示」をしてもらい、外食利用者が適切な栄養情報を得ることができる環境を整備する。

目標：「栄養成分表示の店」の登録店の増加

	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定)
実施内容	市内外食料理店及びコンビニエンスストア等において、エネルギー等の栄養成分の表示。北海道などの各関係機関とも連携し推進した。 ○栄養成分表示 （お店のメニュー3品のエネルギー量を表示） ○ヘルシーメニュー （1食あたり600～700kcalでその内脂肪エネルギーが占める割合がおおむね25%程度、かつ野菜の量が80g以上とする） ○健康おすすめメニュー （カルシウム、鉄、食物繊維、塩分、野菜の量等の基準量を満たしているもの） ○キッズメニュー （主に3～5才児を対象としたメニュー） ○ミニサイズメニュー （量を調整し、通常の提供量のおおむね1/2から2/3程度）	・北海道などの関係機関と連携し、登録店への周知に努めた。 ・市ホームページへ掲載	・北海道などの関係機関と連携し、登録店への周知に努める。 ・市ホームページへ掲載
評価	登録件数：56件	登録件数：57件	
改善点	今後も、北海道などの各関係機関等と連携し事業を推進する。	今後も、北海道などの各関係機関等と連携し事業を推進する。	

施策No.	領域	施策	担当
11	精神保健領域	悩みの相談窓口の周知啓発推進	地域保健SG

目的・目標 目的:保健所「こころの健康相談」(精神保健福祉相談事業)について、広く市民に周知啓発する。

目標:年度内に市民及び関係機関に対し、事業の啓発用ちらしを2,500枚以上配布し、周知を図る。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定)
実施内容	1 街頭啓発キャンペーンの実施 2 相談援助技術専門研修事業の開催 3 通常業務における普及啓発活動	1 街頭啓発キャンペーンの実施 2 障害者施設及び介護保険施設へ啓発用ちらしを送付 3 相談援助技術専門研修事業における啓発 4 製造業及びサービス業を営む事業所へ啓発用ちらしを送付 5 通常業務における普及啓発活動(健康教育、保健所玄関にちらし設置)	1 街頭啓発キャンペーンの実施 2 介護保険施設等へ啓発用ちらしを送付 3 相談援助技術専門研修事業における啓発 4 関係機関へ啓発用ちらしを送付 5 通常業務における普及啓発活動(健康教育、保健所玄関にちらし設置、FMおたる、広報おたる)
評価	(番号は実施内容に対応) 1 年2回実施、市民2,000人にちらしを配布 2 参加した46団体へ普及啓発 3 ちらし500枚を配布 ちらし配布数 計2,500枚	(番号は実施内容に対応) 1 年2回実施、市民2,000人にちらしを配布 2 86か所にちらしを配布 3 参加した46団体へ普及啓発 4 600か所へちらしを配布 5 健康教育は1,231人、保健所玄関のちらしは市民1,000人に配布 ちらし配布数 計3,686枚	
改善点	目標値を達成できており、現行どおり継続する	相談援助技術専門研修事業は参加施設数の目標を達成できるよう、研修会の目的、内容、参加対象施設などを検討していく。 郵送料が削減されているため、効果的な啓発方法について検討していく。	

施策No.	領域	施策	担当
12	感染症領域	麻疹ワクチン接種の推進	結核・感染症SG

目的・目標 目的:麻しん排除に向け、麻しんワクチン(1期及び2期)の接種率の向上を図る。

目標:麻しんワクチン接種率95%以上

	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定)
実施内容	<p>1 対象児への勧奨 第1期対象者 ①赤ちゃん訪問時勧奨(全戸訪問)②乳児健診・相談時勧奨③未接種児へ電話勧奨(1歳10か月時)(年度途中から開始) 第2期対象者 ①個別通知②幼児健診・相談時勧奨③未接種児へ電話勧奨(平成26年2月) 2 関係機関との連携(チラシ、ポスター配布) 保育園、幼稚園、教育委員会、子育て支援課、医療機関</p>	<p>1 対象児への勧奨 第1期対象者 ①赤ちゃん訪問時勧奨(全戸訪問)②乳児健診・相談時勧奨③未接種児へ電話勧奨(1歳10か月時) 第2期対象者 ①個別通知②幼児健診・相談時勧奨③未接種児へ電話勧奨(平成27年2月) 2 関係機関との連携(チラシ、ポスター配布) 保育園、幼稚園、教育委員会、子育て支援課、医療機関</p>	<p>1 対象児への勧奨 第1期対象者 ①赤ちゃん訪問時勧奨(全戸訪問)②乳児健診・相談時勧奨③未接種児へ電話勧奨(1歳10か月時) 第2期対象者 ①個別通知②幼児健診・相談時勧奨③未接種児へ電話勧奨(平成28年2月) 2 関係機関との連携(チラシ、ポスター配布) 保育園、幼稚園、教育委員会、子育て支援課、医療機関</p>
評価	<p>MRワクチン接種率 MRワクチン第1期 87.9% MRワクチン第2期 94.4%</p>	<p>MRワクチン接種率 MRワクチン第1期 95.6% MRワクチン第2期 94.4%</p>	
改善点	<p>第1期対象者の未接種児への電話勧奨(年度途中から開始)</p>	<p>教育委員会との連携強化を図る。 就学時健診時のチラシのほか、健診会場でのポスター掲示による啓発を実施する。</p>	

施策No.	領域	施策	担当
13	口腔保健領域	効果的な歯みがきの普及	担当主幹

目的・目標 目的: 歯周病予防により自分の歯を維持し、いつまでも自分の歯で食べることができるようになる

目標: ①40歳代で進行した歯周病を有する者の減少 ②60歳代で24歯以上自分の歯を有する者の増加

	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定)
実施内容	1. 効果的な歯磨きについてのリーフレット作成し配布 2. 歯科医師会のイベントで歯磨きのDVD上映 3. 歯磨き教室開催	1. 効果的な歯磨きについてのリーフレット作成し配布(2,644枚) 2. 歯科医師会のイベントで歯磨きのDVD上映 3. 歯磨き教室開催	1. 効果的な歯磨きについてのリーフレット作成し配布 2. 歯科医師会のイベントで歯磨きのDVD上映
評価	1. リーフレット配布枚数 1,600枚 2. 待ち時間に見ることができ、ある程度効果が期待できる。 3. 歯磨き教室参加者 20名	1. リーフレット配布枚数 2,644枚 2. 待ち時間に見ることができるため、ある程度効果が期待できる。 3. 歯磨き教室参加者数 12名	
改善点	健康教育でちらしの配布を増やす。今年度は、効果的な歯磨きと歯周病チェックリストが、一体化していない配布物もあるので、来年度は、効果的歯磨きと歯周病チェックリストを一体化(表裏に)する。	歯間部清掃用具の普及に力を入れる。	

施策No.	領域	施策	担当
14	口腔保健領域	歯周病セルフチェックの普及	担当主幹

目的・目標 目的: 歯周病予防により自分の歯を維持し、いつまでも自分の歯で食べることができるようになる

目標: ①40歳代で進行した歯周病を有する者の減少 ②60歳代で24歯以上自分の歯を有する者の増加

	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定)
実施内容	歯周病セルフチェックリストを配布する。 保育施設 1400枚 幼稚園 1000枚 職員健診 1400枚 健康クイズ 500枚 歯科医師会イベント 200枚	歯周病セルフチェックリストを配布する。 3歳児健康診査の保護者 474枚 健康教育・健康クイズなど 686枚 歯科医師会イベント 84枚 職員健診 1400枚	歯周病セルフチェックリストを配布する。 幼稚園 職員健診 3歳児健診 健康教育・健康クイズなどで配布予定
評価	歯周病セルフチェックリスト配布 4,500枚	歯周病セルフチェックリスト配布 2,644枚	
改善点	効果的な歯磨きのリーフレットとともに配布する。	保育所や幼稚園には昨年配布したため今年度は配布しなかった。来年度は幼稚園の父母に対して健康教育の案内とともに配布予定。	

施策No.	領域	施策	担当
15	口腔保健領域	むし歯のない3歳児を増やす(80%以上)	歯科・栄養SG

目的・目標 目的:乳歯列完成期(3~4歳)のむし歯の無い子供を増やす

目標:むし歯の無い3歳児を80%以上にする(策定時69.8%)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定)
実施内容	<p>① 3歳児健康診査までに3回以上のフッ化物歯面塗布経験児を現状の27.4%から40%以上に増加させるため、あらゆる歯科口腔(く)保健事業(乳幼児健診、小児歯科相談、所外施設健診、健康教育等)の場で、定期受診の必要性和効果についての情報提供を行う。 [方法] ア. フッ化物歯面塗布利用者へ次回塗布予定月のお知らせを工夫 イ. 塗布回数とむし歯の減少についての情報提供を行う</p> <p>② 小樽の子供のむし歯の罹患型において、A型(上前歯あるいは奥歯のみのむし歯)が20.2%あり、他都市(22年度札幌市13.4%、旭川市14.1%、函館市15.1% 全国政令市・特別区平均13.2%)に比べて高いため、上の前歯のむし歯予防対策を行う。 [方法] ア. 1歳6か月児健康診査時にリスク診断を行い、養育者へフロッシング指導を実施 イ. フロッシングとむし歯の関連性について情報提供を行う</p>	左記に同じ	左記に同じ
評価	<p>むし歯のない3歳児を80%以上にする⇒実績値79.3%(調査時69.8%) ①3回以上のフッ化物歯面塗布経験児を40%以上に⇒実績値40.9%(調査時27.4%) ②上の前歯のみのむし歯(AF型)を7%以下に⇒実績値11.5%(調査時13.5%)</p>	<p>むし歯のない3歳児を80%以上にする⇒実績値79.0%(調査時69.8%) ①3回以上のフッ化物歯面塗布経験児を40%以上に⇒実績値41.7%(調査時27.4%) ②上の前歯のみのむし歯(AF型)を7%以下に⇒実績値10.4%(調査時13.5%)</p>	
改善点	1歳6か月児が1年半後、3歳児健康診査を受けた結果により評価するため、次年度は現状のまま実施する	26年度下半期から取組対象児が3歳児健康診査を受診し始めたこともあり、むし歯のない児の割合はほぼ横ばいではあるが、①②共に数値の改善が見られたため、次年度も現状の取組を維持する。 フロッシング対象児を1歳6か月児健診時にリスク診断により決定しているが、今後、診断基準の精度を上げる必要がある。	

施策No.	領域	施策	担当
16	次世代の健康づくり	思春期の健康教育推進	子育て支援SG

目的・目標 思春期における児童、生徒がエイズ、妊娠、避妊について正しい知識を身につけることができる。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定)
実施内容	<p>1 小・中・高等学校に出向き、望まない妊娠、HIVを始めとした性感染症予防、飲酒、喫煙等についての健康教育を実施。</p> <p>2 健康教育内容に係るアンケートの実施。</p> <p>3 思春期健康教育の推進について小中校長会にて周知。</p>	<p>1 小・中・高等学校に出向き、望まない妊娠、HIVを始めとした性感染症予防、飲酒、喫煙等についての健康教育を実施。</p> <p>2 健康教育内容に係るアンケートの実施。</p> <p>3 思春期健康教育の推進について小中校長会にて周知。</p>	<p>1 小・中・高等学校に出向き、望まない妊娠、HIVを始めとした性感染症予防、飲酒、喫煙等についての健康教育を実施。</p> <p>2 思春期健康教育の推進について小中校長会にて周知。</p>
評価	<p>1 実施回数:32回 (小学校19、中学校7、高等学校5、その他1) 参加人数:2,254人</p> <p>2 「説得力があり、わかりやすい話だった。」等の感想あり。</p> <p>3 小中校長会において事業周知(2回)</p>	<p>1 実施回数:42回 (小学校26、中学校10、高等学校6) 参加人数:3,020人</p> <p>2 「性教育は命の勉強であることがわかった。」「将来、自分の子どもにも教えていきたい。」等の感想あり。</p> <p>3 小中校長会においてエイズ教育の目的等についての説明を実施(1回)</p>	
改善点	<p>校長会での事業周知を継続し、実施数の増加に努める。</p>	<p>健康教育の実施回数は増加している。校長会での事業周知を継続していく。</p>	

施策No.	領域	施策	担当
17	全般	第2次健康おたる21普及啓発活動	事務局

目的・目標 目的:各分野における健康教育等を活用し、新たな団体等に対して重点的に普及啓発を図る。□

目標:計画の概要説明(目標3,000人)、計画概要版の増刷(目標2,000枚)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定)
実施内容	各分野における健康教育及び各種媒体を通じて、随時、普及啓発を実施する。	各分野における健康教育等を実施する際に、併せて本計画について参加対象者に周知を行う。	各分野における健康教育等を実施する際に、併せて本計画について参加対象者に周知を行う。
評価	計画1:各分野における健康教育等による普及・啓発を行った。97回、3,034人 計画2:計画概要版の印刷 2,000枚	計画1:平成26年度 実績 72団体2,144人 うち新規団体・新規対象 18団体1,780人(83.0%) 計画2:計画概要版の増刷 2,000枚	
改善点	現行どおり	・今後は、計画推進のためのネットワーク会議等にお諮りし、関連団体の協力を得、新規の団体、対象者に周知を拡大できるようにする。 ・各サブグループで健康教育をはじめ新規の団体に関わる機会がある場合は周知を積極的に行うとともに、同じ団体でも、受講者が違う場合などには、周知漏れがないように留意する。	

施策No.	領域	施策	担当
18	全般	チャレンジ健康クイズ	地域保健SG

目的・目標 健康づくりについて、より多くの市民に情報を提供するため「チャレンジ！健康クイズ」を郵送し、クイズに回答しながら楽しく健康づくりについての知識を身につけていただく

	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定)
実施内容	「チャレンジ！健康クイズ事業」の推進 対象は、市内在住の満20歳以上の市民、男女500人 実施方法は、対象者に「チャレンジ！健康クイズ」を送付、対象者は返信用封筒により返送期間内に回答用紙を返送。後日回答用紙のコピー、クイズの正解(解説付)、健康情報を郵送した。 回答未返送者には、正解(解説付)、健康情報を郵送した。	「チャレンジ！健康クイズ事業」の推進 1 対象は、市内在住の満20歳～79歳の市民、男女500人 実施方法は、対象者に「チャレンジ！健康クイズ」を送付、対象者は返信用封筒により返送期間内に回答用紙を返送。後日回答用紙のコピー、クイズの正解(解説付)、健康情報を郵送した。回答未返送者には、正解(解説付)、健康情報を郵送した。 2 健康教育で「チャレンジ！健康クイズ」の回答用紙、正解(解説付)を配布した。	「チャレンジ！健康クイズ事業」の推進 1 対象は、市内在住の満20歳～79歳の市民、男女500人 実施方法は、対象者に「チャレンジ！健康クイズ」を送付、対象者は返信用封筒により返送期間内に回答用紙を返送。後日回答用紙のコピー、クイズの正解(解説付)、健康情報を郵送する。回答未返送者には、正解(解説付)、健康情報を郵送する。 2 健康教育で「チャレンジ！健康クイズ」の回答用紙、正解(解説付)を配布予定。
評価	対象者500人に対し、487人に健康情報を提供した。	1 対象者500人に対し、488人に健康情報を提供した。 2 健康教育で766人に健康クイズを配布し、健康づくりの情報を提供した。	
改善点	現行どおり	現行どおり	

前期計画策定シート(平成25年～29年度)

領域	番号	事業名・取組内容	評価指標 ※複数の場合は行の挿入をお願いします。	平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度(中間評価)		
				目標値	実績	達成状況等	目標値	実績	達成状況等	目標値	実績	達成状況等	目標値	実績	達成状況等	目標値	実績	達成状況等
(1)がん・循環器疾患・糖尿病領域	1	地域連携によるがん検診普及啓発推進事業	がん検診受診率の向上	胃がん10%	7.3%	未達成	胃がん20%	7.0%	未達成	胃がん30%			胃がん40%			胃がん40%		
				肺がん10%	10.1%	達成	肺がん20%	9.6%	未達成	肺がん30%			肺がん40%			肺がん40%		
				大腸がん10%	18.2%	達成	大腸がん20%	17.9%	未達成	大腸がん30%			大腸がん40%			大腸がん40%		
				乳がん20%	28.5%	達成	乳がん30%	27.5%	未達成	乳がん40%			乳がん50%			乳がん50%		
				子宮頸がん20%	34.7%	達成	子宮頸がん30%	32.2%	達成	子宮頸がん40%			子宮頸がん50%			子宮頸がん50%		
	2	地域連携による特定健康診査・特定保健指導の普及啓発事業	特定健診受診率及び特定保健指導利用率の向上	特定健診20%	13.5%	未達成	特定健診30%	14.7%	未達成	特定健診40%			特定健診50%			特定健診60%		
				特定保健指導20%	12.6%	未達成	特定保健指導30%	実施中	未確定	特定保健指導40%			特定保健指導50%			特定保健指導60%		
	3	血圧自己測定推進事業	市民や関係団体への啓発リーフレットの配布数	1,000人	1,545人	達成	1,000人	953人	未達成	1,000人			1,000人			1,000人		
	4	ウォーキング推進事業 ※事業終期は、サポーター養成100人を達成する平成28年度とする	ウォーキングサポーター養成数(累計)	40人	45人	達成	63人	52人	未達成	81人			100人					
			市民への健康教育事業等での普及啓発数(自主活動支援)														3,000人	
5	おいしい空気の施設推進	登録施設数	100か所	78か所	未達成	150か所	105か所	未達成	200か所			250か所			300か所			
6	禁煙宣言プロジェクト	禁煙宣言者数	50人	10人	未達成	50人	7人	未達成	10人			10人			10人			
7	「おたる・ヘルシーメニュー」事業	登録件数	5件	5件	達成	10件	4件	未達成	15件			20件			25件			
8	「毎日朝食をとる」、「家族の誰かと朝食をとる」	市民や関係団体への啓発リーフレットの配布数	6,000枚	6,000枚	達成	6,000枚	6,000枚	達成	6,000枚			6,000枚			6,000枚			
9	食事バランスガイドの活用推進	市民や関係団体への啓発リーフレットの配布数	3,000枚	3,000枚	達成	3,000枚	3,000枚	達成	3,000枚			3,000枚			3,000枚			
10	栄養成分表示の店推進	登録件数	56件	56件	達成	56件	57件	達成	56件			56件			56件			
(2)精神保健領域	11	悩みの相談窓口の周知啓発の推進	(主指標)相談機関地域連携体制への参加施設数	40施設	46施設	達成	50施設	46施設	未達成	55施設			60施設			65施設		
			(副指標)「こころの健康相談」啓発用チラシ配付数	2,500枚	2,500枚	達成	2,500枚	3,686枚	達成	2,500枚			2,500枚			2,500枚		
(3)感染症領域	12	麻しんワクチンの接種率向上に係る取組について	MRワクチン接種率(95%以上)	MR第1期 95%以上	87.9%	未達成	MR第1期 95%以上	95.6%	達成	MR第1期 95%以上			MR第1期 95%以上			MR第1期 95%以上		
				MR第2期 95%以上	94.4%	未達成	MR第2期 95%以上	94.4%	未達成	MR第2期 95%以上			MR第2期 95%以上			MR第2期 95%以上		
(4)口腔保健領域	13	効果的な歯磨きの指導	リーフレット配布枚数	1,000枚	2,000枚	達成	2,000枚	2,644枚	達成	3,000枚			2,000枚			2,000枚		
	14	歯周病セルフチェック事業	セルフチェック配布枚数	4,000枚	4,500枚	達成	2,000枚	2,644枚	達成	3,000枚			2,000枚			2,000枚		
	15	子供のむし歯予防対策事業	むし歯の無い3歳児を増やす(80%以上)	80%	79.3%	未達成	80%	79.0%	未達成	80%			80%			80%		
(5)次世代の健康づくり	16	思春期の健康教育推進	思春期健康教育実施学校数	32校	32校	達成	増加	42校	達成	増加			増加			増加		
(6)第2次健康おたる21普及啓発活動	17	第2次健康おたる21普及啓発活動	市民や関係者への健康教育等での普及啓発数	3,000人	3,034人	達成	3,000人	2,144人	未達成	3,000人			3,000人			3,000人		
	18	チャレンジ健康クイズ事業	市民への健康情報提供数	500人	487人	未達成	500人	1,254人	達成	1,000人			500人			500人		
年度別目標達成状況				達成率 88.9% (16施策/18施策)			達成率 58.8%(10施策/17施策)未確定1施策除く											